基礎教育科目　講義科目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名： | 経営戦略 | 科目コード | AB19 |
| 科目主査： | 北山 勝英　　担当講師：北山 勝英、鶴岡 公幸、内藤 英俊、中村 光延 | 単位 | 4 |
| | | 配当年次 | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| 授業の目的と概要 | グループワーク：☑ あり　☐ なし | 個人ワーク：☑ あり　☐ なし |

目的：①経営戦略の歴史学習を通じて、企業の経営や意思決定に興味関心を持つ。
②経営戦略の考え方を理解・応用して、自らの意思決定力や企画や開発などの様々な業務の設計力を高める。
概要：経営戦略全史を通読したことを前提にして、授業項目ごとに用意された演習に取り組んでいただきます。演習の進め方として、グループやペア、トリオなど様々な単位で意見を共有し、発表することを予定しています。

| | | |
|---|---|---|
| 履修の前提となる科目 | ☐ あり　☑ なし | 科目名： |
| 履修の前提となる知識<br>その他特記事項 | 事前にテキストを熟読し、わからない点や言葉があったら、マーキングし、質問ができるように準備してください。 | |
| テキスト | 『経営戦略全史』, 三谷 宏治, ディスカバー・トゥエンティンワン, 最新版 | |

| | |
|---|---|
| この科目の<br>到達目標 | ①経営戦略全史に書かれた「これまでの経営戦略の基本的な考え方」を概ね理解できる。<br>②経営戦略の基本的な考え方を日常の業務に応用できる。<br>③企業経営に関心が高まっている。 |
| 成績評価<br>の 方 法 | 出席状況と最終試験で成績を判定します。その両方とも授業の問いに真摯に解答し、講義のなかでここは重要であるという指摘の部分をしっかりと学習してください。また、最終試験は、基本的な知識を問う選択肢問題と記述設問中心で構成されています。問題の分量は多いですが、一連の講義や演習の振り返りを行い、自分のものにした上で受験をお願いします。<br><br>※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。 |

| | |
|---|---|
| 事後学習 | 経営戦略のあり方は、日々進化しています。ユニコーン企業をはじめとする様々な企業の成長・発展の状況や、その逆に衰退していく状況を日経新聞や日経ビジネス、週刊東洋経済、週刊ダイヤモンドなどの雑誌で確認をして、経営のあり方をウオッチしてください。 |
| 事後学習の<br>参考文献 | 『世界標準の経営理論』入山 章栄、ダイヤモンド社、2019年<br>『両利きの経営』チャールズ・A. オライリー、マイケル・L. タッシュマン、東洋経済新報社、2019年<br>『マンガ　経営戦略全史』三谷宏治（著），飛高翔（イラスト），星井博文（その他）、日経BP 日本経済新聞出版、2023年 |

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイク、☑途中で切れない接続環境　☑パソコン
※グループワークがあり、かつ受講状況などもこちらで見ながら出席状況を評価したいのでカメラがあるパソコンで受講してください。また、回線環境もカメラをオンにしても常時つながるよう準備して受講してください。
スマートフォンの場合はグループワークでのまとめる際の書記役ができない、画面の文字が見えづらいので、パソコンやタブレットでの受講を推奨します。
ただし、パソコンにカメラがついていないため、パソコンのカメラを補強するために2台目として、スマートフォンで参加する場合はOKです。
この授業はグループ代表で討議結果をまとめます。プレゼンテーションソフトや表計算ソフト等が入っていることが望ましいため、パソコンでの受講を強く勧めます。